News Release

２０２６年１１月１８日

輸送動向について（２０２６年１０月分）

１．輸送概況

国内経済は緩やかな回復基調が続いているものの、長引く物価高騰に伴う節約志向の高まりにより個人消費は力強さを欠いている。当社においては、7 月に発生した熊本地震に伴い不通となっていた鹿児島線・肥薩おれんじ鉄道線が開通し、全国で不通区間が解消した。

コンテナは、農産品・青果物が、北海道地区の玉葱及び馬鈴薯等が好調な出貨となり前年を上回った一方、エコ関連物資は、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回った。また、紙・パルプは、熊本地震の影響により一部顧客の出貨が伸びず減送となった。コンテナ全体では前年比 95.4%となった。

車扱は、石油が、価格上昇に伴う買い控えにより灯油を中心に前年を下回った。車扱全体では前年比 95.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 95.3%となった。

２．輸送実績

（単位：千ﾄﾝ、%）

種別／扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,730	1,814	95.4%	10,409	11,253	92.5%
車扱	677	711	95.3%	4,304	4,359	98.8%
合計	2,408	2,525	95.3%	14,713	15,612	94.2%

３．品目別輸送実績表

（単位：千ﾄﾝ、%）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	197	185	12	106.6%
	化学工業品	142	143	−0	99.8%
	化学薬品	97	97	0	100.9%
	食料工業品	255	252	2	101.1%
	紙・パルプ	189	196	−6	96.7%
	他工業品	115	119	−3	96.9%
	積合せ貨物	305	304	0	100.1%
	自動車部品	78	80	−2	96.9%
	家電・情報機器	33	33	−0	99.8%
	エコ関連物資	34	101	−67	34.0%
	その他	280	300	−19	93.4%
	コンテナ計	1,730	1,814	−83	95.4%
車扱	石油	445	476	−31	93.5%
	セメント・石灰石	138	138	−0	99.5%
	車両	68	68	−0	99.1%
	その他	26	27	−1	95.6%
	車扱計	677	711	−33	95.3%
合計		2,408	2,525	−117	95.3%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）